



庄原さとやま留学「インターン」

8月17日～9月18日の期間、比和・西城地域で3週間、東城地域で2週間の留学インターンを実施しました。県内外から9人の若者が地域に滞在しながら、より深く、リアルな農業に携わりました。

最終日には、活動中の気づきや提案などを発表しました。

今回は、そこで挙げられた留学生のコメントを抜粋して紹介します！

留学生の気づき・提案

比和・西城地域

- 作物を育てるだけでなく、草刈りや獣害対策も農業の大切な仕事だと知ることができた。
- 庄原の人は「庄原は何もない」と言うが、だからこそ、新たに生み出せるし、なんでもできる。
- IT化による農業の効率化や、農家が人手を必要とする時期に合わせたインターン実施を提案。

東城地域

- 歴史的な街並みや文化、史料が多く遺る東城町に興味を持った。ぜひまた訪れたい。
- 庄原産の作物をもっと知ってもらうために、首都圏や都市部を中心に「出張ファーマーズマーケット」などの展開を提案。

庄原の魅力を体感！

地域に飛び込む「留学インターン」と「え～農体験」

政策企画課関係人口創出係　☎0824-73-1209

庄原ファンクラブ「え～農体験」

庄原ファンクラブでは、9月5日、高野町の「合同会社まえだ農園」で「え～農体験」を開催し、大人から子どもまで9人が参加しました。

前半は、赤く実ったトマトの収穫を体験しました。収穫の基準を満たしたトマトを見分けるのは難しく、参加者は目を凝らしながら、1つずつ丁寧に収穫していました。

後半は、トマトの出荷作業を体験。大きさや色を目で確認しながら選別し、箱詰めまで行いました。前田さんに教わりながら手際よく作業を進め、コンテナ5個分のトマトを仕分けました。

参加者からは「気候もトマトの実りもよく、また来たい」といった声が聞かれました。

庄原ファンクラブでは、今後も本市に関心を持つ人とのつながりを広げ、交流を深めるコミュニティ活動を続けていきます。

これまでに実施した留学・ファンクラブ事業は、ホームページおよびSNSでレポートを発信しています。

ぜひご覧ください！

▲HP

▲Instagram



